

日時\会場	大ホール	ルームA	ルームB	ミーティング・ルームE	ホール2	コンプレックスA
11月26日(月)	9:30-12:00 開会式 ・挨拶 ・基調講演(ジャン＝ルイス・ロイ/ケベック州国立図書館公文書館長)					
	14:30-15:30 全アフリカの課題:アフリカの記録資料を評価する 【全アフリカの課題:ガバナンス】 ・「現在をスナップショットする:アフリカ54か国の国立公文書館」(P. Franks/アメリカ) ・「アーカイブズの管理:持続可能な客観的か」(J. Rhys-Lewis/イギリス)		遺産に取組む:クラウドソーシングと地域共同体との関わり 【持続可能な発展目標:遺産】 ・「パンジャブアーカイブズのデジタル化プロジェクト」(Y. Khan Bahgash/パキスタン) ・「国立公文書館における新たな取り組みとしての積極的収集 - 明治期の記録保全と提供に係る事例報告 -」(寺澤正直/日本)	民主主義のためのアーカイブズ:法制度【持続可能な発展目標:ガバナンス】 ・「記録遺産にかかるデジタル移行の課題I」(A. Boutchang, M. Salaun /カメルーン) ・「記録遺産にかかるデジタル移行の課題II」(T. M. Akamba/カメルーン) ・「モザンビークにおける記録資料の全国的システム実施の10年:インパクト、教訓、課題」(F. Nhastsave, A. Dias/モザンビーク) ・「フランス国立公文書館における行政・立法当局の記録:政府と国の統制の間で」(M. Ranquet/フランス)		
	15:45-17:15 円卓会議:全アフリカの課題:アフリカにおける記録ガバナンス 【全アフリカの課題:ガバナンス】 ・「良質なガバナンスのための近代的記録管理」(U. Tijani/ナイジェリア) ・「アーカイブズと公金横領の闘い」(A. Y. H. N. Ngomo II/カメルーン) ・「中央アフリカにおけるアーカイブズと良質なガバナンス」(J. M. Ndzengue/ガボン) ・「良質なガバナンスのための近代的記録管理」(M. Aboi/ナイジェリア) ・「アーカイブズ建築と安全性:エデア市公文書館の事例」(E. J. Tonye, R. P. E. Edjangue/カメルーン)	写真遺産 【遺産】 ・「デジタル化を越えて:カメルーン・ブエア報道写真アーカイブズの終焉か夜明けか」(R. Mazuela/スイス) ・「Akkasah: 中東・北アフリカの写真遺産保全のための新モデル」(O. Calafato/アラブ首長国連邦) ・「写真遺産管理の新時代:課題と機会」(J. B. i Raset/スペイン) ・「アフリカの画像の所有権:大陸の写真遺産の保存の必要性:アフリカ記録コレクションの経験」(F. K. Ogou/ベナン)	記憶をアーカイブする:脱植民地化 【全アフリカの課題:記憶】 ・「植民地アーカイブズのフランスへの移管:マダガスカル」(C. Jollivet/フランス) ・「独立したアフリカとそのアーカイブズにおける対決:課題と機会の混在」(A. A. Pam/フランス) ・「カメルーンにおけるドイツ植民地時代の記録遺産を保存する:共同プロジェクト」(T. Herrmann/ドイツ) ・「カメルーンの接収植民地記録:責任の記録ではなく、文化遺産の再構成のために」(E. A. II E. Ndjomo/カメルーン)			

日時\会場	大ホール	ルームA	ルームB	ミーティング・ルームE	ホール2	コンプレックスA
11月27日(火)	9:00-9:45 基調講演(K. Ndumbe III/アフリカ未来基金代表)					
	10:00-11:30 円卓会議:ケープタウン2003からヤウンデ2018:アーカイブズと人権の15年間 【全アフリカの課題:記憶】 ・「ビジネスの世界の記録と人権」(B. Bazaco/スペイン) ・「アーカイブズと人権:ブック・プロジェクト」(J. Boel/デンマーク) ・「トーゴにおける過渡期の正義とアーカイブズの役割」(A. A. Pam/セネガル) ・「アーカイブズと人権グループの15年間の活動結果:ケープタウン2003からヤウンデ2018」(P. C. Canavaggio/フランス)	国立公文書館長フォーラム(Forum of National Archivists)	文化的アーカイブズを通じた遺産の保存 【遺産】 ・「メッシvsチタルの年間最多得点記録についての論争:国際スポーツ・アーカイブズの記録管理の事例」(F. Garaba/南アフリカ) ・「カメルーンにおける文学アーカイブズ」(D. Sutton/イギリス) ・「サッカー・カメルーン代表(不屈のライオン)のジャージ:非主流アーカイブ」(N. E. Makake/カメルーン) ・「モラベザの記録:ロッテルダムにおけるカーボベルデ共和国の記録ラベル」(J. Steenhuis/オランダ)		国連持続可能な発展目標:SDG16 責任ある包括的制度 【持続可能な発展目標:ガバナンス】 ・「ナイジェリア政府によるSGD16の実現確保に向けて:アーカイブズの役割」(E. E. Anenene, O. T. Oyewole/ナイジェリア) ・「外交記録:カメルーンの海外保管記録」(J. F. B. Assen/カメルーン) ・「世界アーカイブズ宣言:ガバナンス、記憶、遺産への貢献」(C. Roberto/カナダ) ・「国連SDG16の達成のための機関における情報ガバナンス」(J. B. Bebissemegnie/カメルーン)	記憶をアーカイブする:マイノリティの経験と証言を記録する 【記憶】 ・「見えないもの、見えにくいもの:アーカイブズによって記録をキールに乗せ、共通の遺産を構築する」(R. Lheureux/フランス) ・「カメルーンの先住民族の知識を概観する:発展のための持続可能な管理のための課題と展望」(C. W. Kiven/カメルーン)
	11:45-13:15 対話型討論:人権支援におけるアーキビストとレコードマネジャーの役割の基本原則 【全アフリカの課題:記憶】 (G. Barrera/イタリア)		アクセスにおける革新:オープン・リンクド・データ事例報告(マダガスカル) 【ガバナンス】 ・「アフリカのアーキビストのための軽装の目録システムを構築する」(J. P. Bat/フランス)		民主主義のためのアーカイブズ:責任ある機関の構築 【持続可能な発展目標:ガバナンス】 ・「今後の記憶:昨日から今日へ」(B. Owabira/コンゴ共和国) ・「アフリカの持続可能な発展の確保に向けたアーカイブズが直面する全アフリカの課題」(K. Samandoulougou/ブルキナファソ) ・「チュニジア国立公文書館と民主的変革プロセス:ガバナンス、歴史、記憶のコンピネーション」(H. Jallab/チュニジア) ・「マリ国立アーカイブズ総局のマリ最高裁判所会計部局の記録にかかる収集・分類の課題」(S. Diabate/マリ)	記憶をアーカイブする:対立と和解 【全アフリカの課題:記憶】 ・「アーカイブズ、国の平和と和解:カメルーンにおける英語圏危機の行き詰まりを打開するアーカイブズ資料の貢献」(F. Awung/カメルーン) ・「対立のコンテキストにおけるアーカイブズのガバナンス:コンゴ民主共和国の教訓」(B. Mulonda/コンゴ民主共和国) ・「人権、正義と記録」(B. Kim/韓国)

日時\会場	大ホール	ルームA	ルームB	ミーティング・ルームE	ホール2	コンプレックスA
11月27日(火)	15:00-16:30	円卓会議:共有アーカイブ遺産:課題と解決の探求 【全アフリカの課題:遺産】 (A.Agema, R.T.Fooh/オランダ、E.Namhila/ナミビア、J.Lowry/イギリス、J.Tembe/モザンビーク、N.Mnjama/ボツワナ、N.Sigurosson/アイスランド)	継続と変革:記録遺産の効果的管理にかかる現在の研修体制についての検討 【遺産】 (A.Pua'ara/ソロモン諸島、E.Cummings/イギリス、J.Duke/トリニダード・トバゴ、J.P.Lawson/ペナン、K.Samandoulougou/ブルキナファソ、R.Mihalko/アメリカ合衆国、R.Klassen/カナダ)		民主主義のためのアーカイブズ:情報へのアクセスと個人情報保護 【持続可能な発展目標:ガバナンス】 ・「アウトリーチ・イニシアチブの表出におけるアーカイブズ法制度・政策の役割:東部・南部アフリカの国立公文書館の事例」(N.Sauroombe/南アフリカ) ・「個人情報保護とアーカイブズへのアクセス:アーキビストの課題とジレンマ:国際赤十字委員会の事例」(B.Troyon/スイス) ・「特許:OAPI管轄区域における未開発の金鉱」(M.F.Essomba/カメルーン)	記憶をアーカイブする:地方と都市の経験 【記憶】 ・「記憶、市民登録と地方開発:ヤウンデとガロウア=ブライの地方自治体における状況に基づく分析」(D.T.Tchagang, C.M.Assouga/カメルーン) ・「集合的記憶政策への協同アプローチ:ヴァレー州の事例」(A.Duvois/スイス)
	16:45-18:15		アーカイブズと記録管理におけるベスト・プラクティス:所蔵資料をどのように普及させるか 【ガバナンス】 ・「国の記録遺産へのアクセスと利用を促進するためのザンビア国立公文書館によるアウトリーチ戦略の利用」(F.Chaterera/ジンバブエ) ・「世界文化遺産のための共同構築/共有モデルの開発:敦煌莫高窟における仏教典のデジタル化にかかる研究」(J.Wang/中国) ・「未来への展望:分散型*デジタルアーカイブ(*電子記録保存システムの意)」(J.Sheridan/イギリス)		アーカイブズと記録管理におけるベスト・プラクティス:何を保存するのか、そしてなぜか 【ガバナンス】 ・「情報と知識への普遍的アクセスの提供:保存されている歴史的記録は本当に研究者が求めているものなのか?」(M.R.T.Wabo/カメルーン) ・「アーカイブズの評価選別:発展と課題」(B.M.Shabou/スイス) ・「政府記録(2014-2018)におけるカナダ国立図書館処分と発見性にかかるタスク・フォース:管理的側面から」(K.X.Thomas/カナダ)	アーカイブズの現代的課題:低予算アーカイブズとFIDA 【全アフリカの課題:ガバナンス】 ・「アーカイブズの国際的発展基金-FIDA-の紹介」(F.v.Kan/オランダ) ・「FIDAを主導する」(A.Abiye/ナイジェリア) ・「アフリカにおける文学アーカイブズと個人資料」(D.Sutton/イギリス)

日時\会場	大ホール	ルームA	ルームB	ミーティング・ルームE	ホール2	コンプレックスA
11月28日(水)	9:00-9:45	基調講演(M.Rocourt/ハイチ文化省・ハイチ観光協会に対する遺産特別評議会)				
	10:00-11:30	アクセスにおける革新:デジタル・レファレンス・モデル 【継続的発展目標:ガバナンス】 ・「カナダ国立図書館公文書館におけるデジタル・サービス文化イニシアチブ」(J.Smith/カナダ) ・「未来のための持続可能なデジタル・レファレンス:ヒストリー・ハブ」(P.Wright/アメリカ合衆国) ・「歴史的資料のデジタル化におけるクラウド・ソースのための枠組みを探求する」(N.Yonghao, J.Liu/中国)	記憶をアーカイブする:追放された人々 【記憶】 ・「記録されないものを記録する:難民の経験を記録する」(J.Lowry/イギリス、A.Gilland/アメリカ合衆国) ・「奴隷の言葉-奴隷貿易の被害者に発言させる」(L.G.Pairault/フランス)	アーカイブズと記録管理におけるベスト・プラクティス:公的サービスの記録のガバナンス 【ガバナンス】 ・「世界ポリオ根絶イニシアチブ歴史プロジェクト」(L.Frizzell, H.Crawford/アメリカ合衆国) ・「アーカイブズと社会保障:サービスの質向上における国家社会保障局の実験」(T.M.Akamba/カメルーン) ・「健康保険記録の保存と利用にかかる研究」(M.Ni/中国)		アーカイブズと記録管理におけるベスト・プラクティス:電子政府 【全アフリカの課題:ガバナンス】 ・「ブラジル行政府における人事記録のスキミング:厚生省の事例」(K.V.P.de Cruz/ブラジル) ・「情報社会の普及における全国アーカイブズ記録センターの役割」(B.Alzahrani/サウジアラビア) ・「電子記録管理ソリューションの拡大を通じたケニア地方政府のサービス供給の変革:ウアシン・ギシュ州本部の事例」(G.Maina, J.Erima/ケニア)
	11:45-13:15	アーカイブズと記録管理におけるベスト・プラクティス:所蔵資料をどのように管理するか 【ガバナンス】 ・「社会のアーカイブズ:誰が気にかけるべきなのか」(H.Laverdure/カナダ) ・「アフリカにおける電子銀行:銀行アーカイブズの課題と機会、カメルーンの事例」(I.J.K.A.Nkeng/カメルーン) ・「ナイジェリアにおける記録管理と良質なガバナンス」(I.A.Okafor, A.Abiye/ナイジェリア) ・「アーカイブズ管理の統合を通じたガバナメント部局統合の効果の最適化:中国広州地方政府における事例」(Y.Nie, H.Chen/中国)	アーカイブズと記録管理におけるベスト・プラクティス:都市アーカイブズにおける共有アーカイブズ遺産 【ガバナンス】 ・「ナイロビの遺産を解き放つ」(V.Magero/ケニア) ・「都市の共有アーカイブズ遺産:全市民を象徴することのグッド・プラクティス」(R.Whiltshire/イギリス) ・「都市の共有アーカイブズ遺産:全市民を象徴することのグッド・プラクティス」(J.Steenhuis/デンマーク, E.v.d.Waerden/オランダ)	アーカイブズの現代的課題 【全アフリカの課題:ガバナンス】 ・「伝統的方法で気象変動と闘う:太平洋諸島アーカイブズと文化遺産保存の戦い」(B.Oswald/アメリカ合衆国) ・「シジチ共和国の記録保存における気象の影響」(D.M.Chirdon/シジチ) ・「IDEP:危機にある資料を救うための協力の枠組み」(R.Lack/アメリカ合衆国)		アクセスにおける革新:新しい技術、仮想現実 【持続可能な発展目標:ガバナンス】 ・「アーカイブズに活用可能な技術の革新、研究、開発:バーチャル・アーカイブズの現在と未来」(E.C.Barri/スペイン) ・「デジタル記憶プロジェクトにおける市民参加を促進する:北京記憶プロジェクトの経験」(X.Jia/中国) ・「フランスとアフリカの共有記憶を保存し、伝える:1918年フランス領西アフリカの雇用キャンペーンにかかる写真アーカイブズのデジタル化と開発」(Z.Romaneix/フランス)
14:30-	閉会式					